

ふきのとう

2003
冬号
No.005



樹氷に魅せられて…。

樹氷といえば、蔵王が有名ですが、森吉山の樹氷は一度見ると、もう毎年行かないと気が済みません。ただし、真冬の森吉山が晴れるのは何日あるのでしょうか。仕事の休みの日が晴れるのは、数年に一回だと思えます。平成14年12月22日はまさにその日になりました。ゴンドラを降りて、山スキーに履き替え石森まで約30分、そこから30

分で山頂に着きました。デジタルカメラは低温では作動しないことがあるので、体で十分に暖めておきます。この日は、山スキーで下りながらビデオとカメラで撮影してきました。とにかく素晴らしい所ですが、あくまでも冬山なので、嚴重な装備がない方はご遠慮ください。私は今シーズンも狙っていますが。

●写真・文／外科 橋爪隆弘



当院に新しいMRI装置が導入されました。



最新MRI装置が稼動しました。

当院では、旧MRI装置の老朽化により、新しいMRI装置が導入され、10月20日から稼動しています。磁場強度1.5テスラの最新モデルにして、最高スペックの装置です。これにより、超急性期脳梗塞の検出や、全身のいろいろな部分の血管の描出など、最先端技術の撮像が可能になりました。近年開発された撮像時間を約半分にするASSET法も加わって、今までは難しかった、体内で安静にしているでも動く部分(胸部や腹部)の撮像でも、鮮明な画像が撮像できるようになり、応用範囲が広がりました。また、腹部検査などで、呼吸に合わせて撮像する呼吸同期法という撮像法もでき、息止めが困難な患者さんでも、撮像可能になっています。私たちスタッフは、最新技術を上手に使いこなし、質の高い画像を提供できるよう日々努力しております。この新MRI装置導入により、医療の質の向上と地域医療の発展に、より貢献できるものと確信しています。



どのようにして検査するの？

検査内容について簡単に説明しますと、

- ①装置の寝台部分に仰向けに寝ていただきます。
- ②撮像する部位にコイルを装着します。頭部検査の場合は、仮面を被るような状態になり、腹部検査の場合は、お腹の上に軽い板を置くような状態になります。
- ③装着が完了したら、装置のトンネルのような部分に入っていただきます。
- ④トンネルの中では、10分から長い時で30分位、安静にさせていただきます。
- ⑤その間、患者さんには大きな音とともに、ラジオ波(電磁波)というものが送られ、患者さんから信号が返ってきます。この信号から画像が作られます。

大体、このような流れで検査が行われます。また、検査前にビデオ・パソコンなどを使って、検査説明を行っていただきますので、安心して検査を受けられます。



MRIってどんな装置？

MRIとは、Magnetic Resonance Imagingの略で、日本語では磁気共鳴画像診断法といいます。MRI装置は、磁石と電磁波の力によって人体の色々な断面を撮像し、体内を見ることが出来る画像診断装置です。現在のMRI装置の多くは1.0テスラ~1.5テスラ(当院の装置は1.5テスラ。1テスラ=10,000ガウス。ピップエレキバンが80ミリテスラ、もしくは800ガウス)という高い磁場を使用しており、検査中以外でも検査室の中では常に磁場は発生しています。



▲頭部MRA



▲MRCP

MRI検査室が1階に移動しました。

以前までMRI検査は、地下の検査室で行っていましたが、新装置導入に伴って、1階の6番撮影室(レントゲン2番撮影室向かい)に移動しました。これにより、救急外来や主要外来、レントゲン受付からの距離が近くなり、利便性が良くなりました。

あなたは大丈夫??



冬に多い!?!?心筋梗塞!!

これから、寒さも厳しくなりますが、忘年会などお酒を飲む機会も増えます。ますます健康管理には気をつけたいといけない季節ですね。今回は、循環器内科の中川正康先生にお話を伺いました。

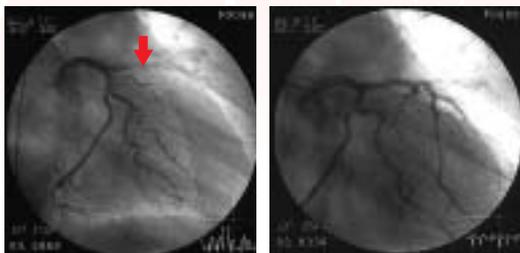
これから寒さの厳しい季節がやってきます。寒い時期には血圧は上昇しやすくなり、また心筋梗塞や脳卒中などを発症しやすくなります。心筋梗塞とは心筋(心臓の筋肉)に血液を送る血管(冠動脈)が動脈硬化のため閉塞し、心筋が壊死(細胞が死滅)する病気です。通常は突然始まる激しい前胸部痛(圧迫感・絞扼感)で発症しますが、まれには全く自覚症状のない例もあります。心臓は全身に血液を送るポンプですから、その機能の低下~停止は即座に生命の危機を意味します。実際心筋梗塞を発症した直後に急死される方も少なくなく、病院に搬送された患者さんでも10人~20人に一人は救命できないという怖い

病気です。治療には一刻も早い冠動脈の再開通(図参照)が必要であり、それにより救命率を向上させ、後遺症を軽減します。ですから症状が出現した時には、とにかく早急に病院で受診される事が重要です。もちろんそれ以上に大切な事は、このような怖い病気にならないようにすることです。



▲中川先生

心筋梗塞の前段階に狭心症という病気がありますが、心筋梗塞に似た症状が一過性に(5~10分間)出現するものです。この段階できちんと検査や治療を受けておけば、多くの症例で心筋梗塞の予防が可能です。また症状のない方でも、糖尿病、高脂血症、高血圧などの危険因子の有無を確認し、あればその治療を行う事が重要です。また喫煙と肥満はそれ以前に自分自身で解決すべき問題です。最近では動脈硬化の簡単な検査がいくつかありますので、一度調べてみてはいかがでしょうか。



◀左:
矢印部で冠動脈が閉塞

◀右:
カテーテル治療により、冠動脈が再開通

動脈硬化を調べるには

動脈硬化を調べるには血液中の脂質(総コレステロール・中性脂肪など)、糖の値を見ます。値が高ければ要注意です。また、頸部に超音波をあてて頸動脈の動脈硬化を測定し、その程度から全身の動脈硬化の評

価をする頸動脈超音波検査や、両手・両足首の四箇所の血圧や心電図を同時に測定することから血管の硬さやつまり具合をみる血圧脈波検査により、動脈硬化の状況がわかります。これらの検査の結果を総合的に見ることにより、動脈硬化の程度の判断ができます。

心臓病を防ぐ食事

心筋梗塞や狭心症は、主に動脈硬化が原因で起こります。予防のためには動脈硬化を防ぐ食事をしましょう。

●血圧とコレステロール値を正常に

塩分を多く含む料理(汁物・めん類・漬物など)や食塩含有量の多い加工食品を控える。酢・レモンなどを使用し、薄味でも食べられる工夫をする。

動物性脂肪・植物油・魚油をバランスよく摂る。

●肥満を是正しよう

栄養バランスを考えて、標準体重に見合ったエネルギーを摂る。お菓子・お酒の量はほどほどに。

●血液の酸化を防ごう

酸化の原因を除去するビタミンC(柑橘類・柿・小松菜・ほうれんそうなど)やビタミンE(かぼちゃ・ブロッコリーなど)がたくさん含まれている野菜・果物を摂る。

ぐず箱 心筋梗塞の薬としてのバファリン

心筋梗塞をはじめとする多くの心疾患のある患者さんに、バファリン81mg(アスピリン)という薬が処方されます。以前は小児用バファリンという名前だったため、「なぜ子供の薬が処方されるのか?」などの誤解もありました。バファリンといえば古くから頭痛薬として広く知られている薬ですが、少量の服用では血液が血管内で固まるのを防ぐ作用(血小板凝集抑制作用)を示し、血栓が出来るのを抑え、心筋梗塞を予防することが出来ます。なお、市販薬の中にはバファリン81mgと同じアスピリンを成分とする薬もあり、アスピリンの多量の服用により血小板凝集抑制作用に影響が出る場合がありますので、併用には十分注意していただきたいと思います。



あわてないで！ SARS (重症急性呼吸器症候群) では?と思われたら…

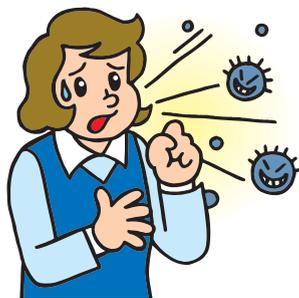
「重症急性呼吸器症候群」と聞くと何かな?と思われる方もいるのではないのでしょうか。しかし、「SARS」と言われると、報道などで聞き慣れているのではないかと思います。SARSは、新しい型のコロナウイルスによるものと原因も明らかになり一時終息しましたが、完全消滅したわけではありません。日本でも、この冬、SARS再燃が危惧されています。この機会にどのように対応しなければいけないのか再確認しましょう。

●まず、SARSでは?と思われたら、 保健所に電話で相談しましょう。

保健所では、地域住民のSARS感染の不安などの相談に対応しております。そして、SARSが疑われると判断された場合は、地域の初期診療医療機関と調整を図り、同医療機関への受診を指示します。



保健所への連絡は、
秋田市保健所 / Tel.018 (883) 1170



●SARSと疑われる場合は?

SARS伝播確認地域に旅行した方またはSARSに罹患した患者に濃厚接触した方で、その後10日以内に発熱や咳・息切れなどの呼吸器症状が発症した方です。症状がないときは、特に心配はありません。

●受診時の注意点は?

- ◎マスクを着用しましょう。
- ◎出来る限り公共交通機関を使用しないようにしましょう
- *1人で医療機関に行けない場合は、保健所に相談してください。消防機関と調整し、必要に応じて保健所が搬送に携わります。

まず、SARSではと不安を感じている方は、保健所に電話連絡し指示を受けてください。

●受診されてからは

感染予防のため、隔離状況となります。そのため診察する医師や診察の介助に携わる看護師は、仰々しい防護服を身にまとい診察に当たりますが、感染を最小限にするための予防措置ですのでご協力ください。

●最後に一言

この冬にSARSの流行の再燃が懸念されますから、SARSと症状が酷似しているインフルエンザを含めた呼吸器疾患との識別が必要になります。そのためアレルギー体質や体調不良の方以外は、不安を少なくするためにもインフルエンザの予防接種をお勧めします。

病院 近景

病院南口を出て御休通りに向かう。秋田銀行山王支店を左手に曲がり、少し歩くとこの標柱(川尻史談会による建立)が見えてくる。安政二年(1855)に孝明天皇の勅

令により、各藩内の寺鐘を改鑄して海防用の大砲を鑄造することになった。佐竹藩でも安政六年(1859)、この地(川尻村お休台)に鑄砲所が建てられた。指揮は吉川忠行(1799~1864、兵法家)がとり、試射の標的は勝平山だったとのこと。戦前の千秋公園の時鐘は、慶応二年(1866)にここで改鑄されたそうである。



鑄砲所跡

ちゅうほうじょあと



秋田市 文化章受章 志摩 麗子さん

平成15年11月3日

に、当院で総看護婦長(S55~H6)をされていた志摩麗子さんが秋田市文化章を受章されました。「市立秋田総合病院の看護基準」や「看護基準活動指針」の編集・刊行に尽力なされ、現在も市民の医療福祉の向上に、幅広く貢献されています。



平成15年11月27日発行(年4回発行)No.005